

3月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和2年3月4日(火)

午前9時30分～

地域交流センター 第3会議室

出席委員 職務代理 市川祥介 委員 塚原明水

委員 坂野かほり 委員 小山正文

出席職員 麻績村長 高野忠房 麻績小学校長 福田弘彦 麻績保育園長 臼井孝夫

教育長 飯森 力 次長 臼井太津男 主事 佐藤克哉

一 開会(臼井教育次長)

只今から3月の麻績村教育委員会定例会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

二 教育長挨拶(飯森教育長)

三 村長挨拶(高野麻績村長)

改めておはようございます。今年は学校関係大変なことになってしまったなどということがございますが何とか乗り切っていただきたいなと思います。ニュースを見ておりましたら休みになった中学生や高校生が繁華街に出て遊んでいるというニュースがありまして、これはおかしいなと思いましたが麻績の子どもたちはそういうことは無いと思いますがこういう時期だからこそ、こういう時期を捉えて自分を大きくする工夫をやっていただけたら嬉しいなと思います。いよいよ4月から新たな教育がスタートします。中学は村立になりますし、新たな方針で一貫教育ということで未就園児から保育園、小学校、中学校といった一連の形の中で一人一人を大事にした教育が出来ていくのかなと思いますし、数が少ないという事ではありますが逆にメリットと捉えて色々なことが出来るのではないかと思いますのでまた是非進めていただければと思います。そして私も嬉しく思っているのが村の人口が減る一方で増やさなくてはいけないということで都市交流だとか若者定住を進めているところではありますが大変思った以上に成果が上がっている訳であります。麻績村は社人研の予測した数字まで人口が減っていません。こういった自治体はあまり数がありません。それも若者定住とかの成果が表れているのかなと思います。実は私の村政の一番の柱ということで据えているんですが、一番これを支えてくださっているのが教育委員の皆様ではないかと思っております。というのは若者定住というのは教育や子育てが無ければ若い人たちは増えないという思いがありまして、これに力を注いでいる訳であります。そうした中で都市から移住促進ということで色々な活動を展開している訳ではありますが、既に

村へ移住したいということで見学者がだいぶ訪れてきています。そういった人たちを案内する中で小学校や保育園、ひだまり広場など子育ての環境をお見せしている訳ですが、その中で皆さん口を揃えて言うのが『麻績の教育ってすごいね。』ということです。中には帰りの車の中で『私、麻績の小学校に行きたい』と言ってくれたというお手紙もいただいております。本当にうれしいことだと思っております。これも皆さんのご努力ということで本当に感謝申し上げます。これは一例ではありますがこれからも人口を増やす、若い人たちに増えていただくということになりますと教育に力を入れていかなければいけないし、先人たちがやってきたように教育は村の一番の主力施策、子どもたちは村の宝ということをこれからも続けていかなければいけないと思っております。ぜひともこれからも新たな年度になってもやっていただきたいなどお願いを申し上げます。この度中学の学校組合教育委員会が無くなるということと、新たに中学も含めて村の教育委員会ですべてやっていくということになりますので新たな教育委員会の出発になる訳ですが、これを機に長くやったので若い人たちに新たな格好でやって欲しいという願いが二人からありました。市川委員と塚原委員です。本来であれば慣れたところで続けていただきたいという思いではありますが、お二人のそういった気持ちがありましたので今回お受けすることにいたしました。そうしますと4月から新たなスタートということになる訳でございますが、小山委員と宮下委員にはもうしばらく続けて欲しいと願っている訳であります。お二人からそういった話が出ているところではありますが何とか頼むということでお話をしているところあります。市川委員と塚原委員にご指導いただいた多くのことをこれからも生かしてより良い教育委員会にして欲しいし、お二人にはこれからも見守っていただきたいしご助言をいただきたいというお願いを申し上げたいと思います。今日は重要な案件についてご審議いただくところではありますが、最後に一つ学校組合の解散に伴って筑北村から大変な条件を突きつけられている訳ですが、これについては村としてしっかりやっていかなければいけないと思っております。村につきましても一般的な形で今日まで進めてきたわけでございますが、65対35で全ての備品から流動資産、固定資産を分けて欲しいという要望がきている訳ですが、学校そのものはこれからも機能を維持していかなければいけないという事でありまして、この地域の教育全体の発展のためにはそんなわけにはいかないということでもありますので、私はそれについては強く出来ないということで申し上げていきたいと思っております。これからも村の教育がさらに振興され、若い人たちがさらにたくさん住んでいただける村づくりのためにお力を賜りたいということをお願い申し上げます。よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

教 育 長: 村長に対して何か質問等ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

四 報告(進行 白井教育次長)

白井次長：それでは、報告に移ります。教育長報告をお願いします。

1. 教育長報告

教育長：お願いいたします(以下、資料に沿って説明)

白井次長：それでは、只今の教育長報告についてご意見等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、保育園長報告に移ります。

2. 保育園長・学校長報告

1) 保育園長報告(白井園長先生)

白井園長：よろしくをお願いします(以下、資料に沿って説明)。

白井次長：それでは、保育園長報告についてご意見等ございましたらお願いいたします。

市川職務代理：保育園で預かっていただけるというだけでも子どもたちを育てている家庭にとってはこれだけ違うんだなということ、保育園で集団生活をさせることで子どもってこんなに急に変わるんだなということを改めて感じてありがたく思っております。保小中一貫教育の中で保育園は学校ではないので保小中一貫教育という中でなかなか噛み合いにくいということ、で苦しんでおられて、しかし保育園は保育園としての任務を果たしているか、かかないといけないというジレンマを良く分かっています。今月の保育目標はほとんど小学校低学年の生活科の目標にずっと繋がっております。こういう所から保小中一貫もなされていく、ですからこの前ある調査を見させていただいたら村内でも幼稚園を希望している人たちが何人かいるようですが、保育園であるけれどちゃんと教育目標をもって、ただ預かるだけではなくて小学校との関連を図っている麻績保育園は非常に特殊と言いますか非常に素晴らしい実践をしているんだよと、見学に来た人に対してこのことは主張してもいいと思います。小学校とのかかわりも考えて今月の目標も小学校の生活科に繋がるような目標をきちんと定めているということは、私はこのことは県下に先立って保小中一貫教育を進めていく上では大事な所だと思いますのでもっと宣伝しても良いかと思えます。

白井次長：その他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、学校長報告をお願いします。

2) 学校長報告(福田校長先生)

福田校長：お願いいたします(資料に沿って説明)。

白井次長：只今の学校長報告につきまして、何かご意見等ございましたらお願いします。

市川職務代理：授業参観は私も見させていただいて、発表力が非常に強化されているなと思いました。全国調査の中で麻績小の発表力が非常に弱いと話題になった時期がありましたがあれだけ出来れば十分だという思いでありました。保護者と一緒に活動するという授業を見せていただきましたが、とてもスムーズに進んでいて本当に一体感のある活動を見させて戴きました。コロナウイルスに関しては教育長の即断、適切な判断は素晴らしかったなと思いますが、同時に教育長から話を伺う中で両校長先生が既にそれぞれ準備を進めていてほぼ問題ないと報告を受けているという一言が非常に心強くありがたいなと思いました。このことについて親が子どもを家庭に返されても困るという意見もありますが、麻績村でそのようなことも多少あったかと思いますが、その辺がどう対応されたのか教えていただければと思います。もう一点、中学校は学力ということについて大事に考えていますので毎週1回家庭訪問をしてくれるそうですが、小学校は期間中に家庭とどうやって連絡を取るか2点教えていただければと思います。

福田校長：授業参観については温かく見ていただいてありがとうございます。保護者とのという所を上手に先生方入れてくださっていて、特に比較でというか低学年の時に関わって同じことをやったことが何年か経って同じ活動をして子どもたちの成長を実感していただけるという所の時間の持ち方は、その場の時間を繋ぐという意味ではない取り組みを先生方が考えてくださっているなと思いました。質問についてですが、保護者の対応については村の方での対応がすでに考えてくださっていて、児童クラブの方に登録のある人は終日預かっただけということで既に大半の子どもたちがそんな対応をしていただいています。事情が変わってというかこのような対応になって困るご家庭があった場合の対応についても、児童クラブの方へということによって学校の方に新たに加入するといった連絡は入ってきていません。そんな状況の中で私も自分の時間の許す限りですが村の中の状況を見ていて子どもたちが出歩いている心配な状況だという風にはなっていませんので、今のところは子どもたちも家庭の中でということが出来ていて保護者の方々もお勤めがあったりそれぞれかと思いますがそういった対応をしてくださっていて動揺は無く来ているかなと思います。何かお気づきのことがあれば教えていただきたいと思います。2点目ですが、家庭の連絡ということについて小学校で考えているのは訪問した時の感染リスクを最小限に抑えるために、電話連絡

を各家庭に入れて子どもの様子を確認するということを行います。心配なのが子どもが臨時休校から従来の春休みの切り替わりがあって約35日子どもたちが家庭にいるということがあって、休校期間中については電話連絡を使ったりオクレンジャーを使ったりして学校の情報を流していくという事なんです、それが区切られるところでは家庭訪問をして子どもや家庭と状況を確認したり、課題について新たに必要な場合には家庭に持っていくということを考えています。一番は感染拡大を防ぐということを第一に考えていますので電話連絡での家庭対応を今週中考えています。

白井次長：その他にいかがでしょうか。

塚原委員：子どもたちも家庭の中に居ながらもストレスが溜まってくると思います。担任の先生が上手く子どもたちと繋がって子どもたちのストレスがたまらないようにしていただけたら良いんじゃないかと思います。昨日児童クラブに行ってみて思ったのが、あまり宿題を多くしないでいただきたいと思いました。授業が出来なかったから残っちゃうこともあるかもしれないし、もう少しレベルを上げたいという願いもあるかと思いますが子どもからすると外に出てはいけない、友達に会いに行ってもいけない、家で留守番していなければいけない、宿題はたくさんあると思うととても酷だなと思ってしまいます。この時期だからこそ子どもたちが自分から考えて家の研究をするとか、一研究のようなものとか工作とか子どもが主体的に動けるようにしていただいた方が良いのかなと思います。児童クラブに行っても答えを見て答えを写しているだけの子もいます。ただ写しているだけでは勉強になるのかなと思ってしまいますので、最後に作品展をやるとか研究発表をする機会を与えとかしてあげないと、運動不足がまずかわいそうに思って何とかしてあげたいと思いました。小学校の体育館を開放していただくことは不可能なのでしょうか。

教育長：不可能に近いと思います。社会体育の体育館ですら全部閉じています。開いたとしても児童クラブの子は良いかもしれないが他の子は親が送ってこなければいけないという手間がかかってしまうので考えないといけないと思います。宿題に関してはある程度の宿題だとしても良いかと思います。学校に来て勉強をする部分を家でしなさいということですので、そこら辺がストレスになるかどうかは別としてやるべきことはしっかりやらないといけないかと思います。工作については良いと思いますが、あの時にはそういう事の可能性はゼロに近い指導かなと思いました。今後また考えるべきところはあるかと思いますが、学校の方でも家にいなさい、外に出ちゃいけないということではなくて、日頃の体力づくりぐらいは全然問題なく出来ると思います。ただ友達と集まっての接触することはあまり良くないかと思いますが、そこら辺のストレスの解消も考えていかないといけないのかなと感じておりますので参考にさせてい

ただいて早急に小学校と中学校も検討した方が良いのかなと思います。
よろしく願いいたします。

福田校長：児童クラブが本当に大変じゃないかと思っていて、それだけの人数の子を感染への配慮をしながらとなった時に職員が、何とか急に延びてしまった春休みにすることが無いということが少しでもという中で目に映る大量の課題が出てしまったり、本当は保護者にやっていただければと思うんですが答えも持たせてしまっているということもあるのでもう少し丁寧にしていかなければいけないかなと反省を持っております。学校でお預かりしている方が何倍も安心であったり大変さがと思いますが、本当に児童クラブは大変中でやってくださっているんじゃないかなという所があります。運動やストレスということも分かりますが、指導していただく方の側からすると宿題やってと言っただけで座って取り組むという方が指導をしていただきやすいのかなという所も含めて学校側で考えていたところもありますので、まずは様子を見させていただいてと思います。

市川職務代理：関連になりますが、児童クラブが今の一番の問題になるのかなと思います。だからと言って学校の先生方が暇になるから児童クラブに行ってもらえばいいじゃないかという気軽な意見が出るとしたら、とんでもないと思います。子どもたちがまったくいない中で年度の終わりをどうまとめ、来年度にどう繋げるか、学校全体の掃除を子どもがいない中で先生方がやっているということにかえって先生方は今忙しくなっているという実情を訴えていただければと思います。そうでないと誤解が生ずるのではないかと思います。逆に時間で働いていらっしゃる方は仕事が無くなってしまうのでどういう配慮をさせていただいているか、そういう方こそ出来れば児童クラブなどのお手伝いをしながら生活保障をしていただければと思います。

教育長：学校の先生方においては、そこでもし色々なことが起きれば学校運営自体がダメになるという解釈をしていますので、学校の先生方にそれを求めることはしないということで考えています。ただし、時給で村費で雇っている給食の先生方がいらっしゃいます。この方たちについては言い換えれば感染した場合でも他の方を補填できるというところで何とかかなるかなということで、休業補償の部分も含めて児童クラブ等で活動してもらおうということでお話をして2人ほど対象でやっていただける方が出てきていますので対応していきたいと思います。児童クラブもそうですが感染者が出てしまうと全部がダメになってしまうということで、どこかの市役所で感染があったということですが非常に大変なことになります。1つの組織が2週間なり完全に停止してしまいますので、リスクを考えると回避する術があれば別ですが無ければ行わない、児童クラブについては朝来るときに熱を測ってもらう、途中でも熱を測ってもらう、異常があった時にはすぐに帰ってもらうということで保護者にも徹底し

ていきたいと思います。もし感染があるとその場所がしばらく使えなくなってしまうという考え方がありますので徹底していきたいと思います。子どもたちも非常に大変だと思いますが、学校がもしそうなってしまうと余計に大変だということでそのような対応を取らせていただいています。児童クラブの方も昨日からそんな連絡を受けていますが、申込書を自分で記入してくる子どもがいるということで保護者に徹底していききたいと思います。今の親御さんも言い方が悪いかもしれませんが出しとけば安全という感覚だけで出している部分が見えますので何とも言えませんが、そういう状況で進んでおります。児童クラブの方も保護者が困る部分があれば受け入れますということでやっていますのでよろしくお願いいたします。

小山委員：児童クラブには何人ぐらいいるんですか。

白井次長：登録は48人ですが、この時期の利用申請が出ているのは20人ほどです。

小山委員：このコロナに関しては青天の霹靂で先生方も子ども達も親も戸惑っていると思いますが、昨今の感染経路を見るとカラオケボックスとかスポーツクラブとかの利用者で、子ども達がそこに行っていないにしても親や同居の親族がこういう年度末の送別会とかでそういう所へ行くケースが多いと思います。親に対する啓蒙を村がやるのか、学校という訳にはいかないと思いますが注意してもらわないと親が近隣の松本や長野という所で感染してくるということになりかねませんので、社会生活するうえで最低限必要な買い物等はあるかと思いますが注意喚起してもらえればと思います。

白井次長：村の全体の対応としては県とあわせる中で3月17日までは色んな部分についても閉じていくということで、教育委員会の管轄の施設としては村の体育館とおみ図書館があります。おみ図書館につきましては3月18日まで閉館という形にしてあります。3月18日というのは小学校の卒業式が3月18日に予定されていますので17日だと18日に図書館に来てしまう場合がありますので18日までということにしています。村全体の部分につきましては色んな会合等が中止になっていまして、人数の大小に関わらず飲食の提供を伴うものでありますとか長時間に及ぶ会議等については中止になっています。いろいろイベント等については準備期間を含めて3月末まではほぼ全てが中止となっています。報道を見ると学校にいけないので図書館でたくさん本を借りたという話もありますが、麻績の図書館は学校と併設されていますので閉館という形を取らせていただいている部分がありますがご理解をいただいている形にしております。どこで状況が変わってくるか分かりませんが収束の方にはならないだろうということになれば閉鎖期間も更に伸びるのではないかと形になっています。村全体、教育委員会としても基本

的にはそのように進んでいるところであります。

教育長：個人的な部分で松本や長野等色々な所へお勤めしている親御さんもいると思いますが、実際には個々で気を付けていただく、今の報道をしっかりと確認していただいてやるしかしょうがないかなと思っております。村の方としても何かあったらすぐ動かないようにということで指導しているつもりであります。近隣がどうなっているかということ朝日村については児童クラブも全部閉鎖にしました。山形村も悩んでいるようですが何故かということ学校に通う子ども達の8割ぐらいが児童クラブの登録があって、その施設に登録者全員が来ると学校より狭い所にそれだけの人数が入るということで判断をしたようです。反響は色々あるようですが実際にはどうしようもないなということだそうです。たまたま麻績村の場合は登録者数も少ない、学舎という広い所を使っていますので、心配はありますが重なることも無いのかなということで注意をしていくようにしていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

白井次長：その他にいかがでしょうか。

宮下委員：長い休みになりましたが一番不安だったのが子ども達が最終の登校の日に明日から休みになるという話を聞いて、不安があった部分もあったと思いますが校内の放送で校長先生の状況と1年の締めのお話を聞いて子ども達は理解できたと思うし、親に対してもオクレンジャーという一斉に連絡を送るもので連絡をいただけることがすごく確認しやすいんです。休校期間中に荷物を取りに行ったりという日を設けていただいているのでその時に先生方と直接お話しできることも安心に繋がるんですが、もし長い期間に何か決まったことやこの先のことをオクレンジャーで連絡していただけるとすごく安心に繋がるかと感じています。休みになって親が一番大変なのが昼ごはんです。逆を言うとちゃんと子どもと向き合える期間だと思います。毎日子どものご飯のことも気にかけてあげたり児童クラブに預けるということで宿題を持たせるということもあると思いますが宿題も大量に持ち帰ってきました。でも先生方の意図も汲み取れますし学力低下も体力低下も不安なことだと思いますが、答えを持ってきている子がいたという話も、もしかしたら量がいっぱい自己採点をしてねという段階で持たせたかもしれないし、そこは保護者がしっかりしなくちゃいけないかなと思いました。家族で話し合ういい機会だと私は思っているので、児童クラブでの過ごし方も家庭でもう少し話が出来たらいいなと思います。

白井次長：その他によろしいでしょうか。それでは、協議事項に移ります。

四 協議事項(進行 飯森教育長)

1. 教育委員の辞職について

教育長：教育委員の辞職についてですが、村長のお話にもありましたが改めて事務局より説明をお願いいたします。

白井次長：先ほどもお話がありました通り、市川委員と塚原委員から辞職ということで願いが出ております。その部分につきましては任命権者であります村長及び教育委員会の同意が必要になってきますのでこの場でお願いできればと思っております。

教育長：村長も申し上げましたが全員の方から辞任の意向がありましたが、市川委員と塚原委員につきましては受理をさせていただいたということ、残りの2名につきましてはそれぞれの代表で出てきている部分でもう少し続けていただきたいという思いもありまして受理されなかったという状況がありますので、そこをお含みいただきまして皆さん方から今ご説明のありました選任をさせていただいた村長の方はそういう理解をさせていただいたということでございます。教育委員会としてこの辞任を同意しますかということでお諮りをしていきたいと思っておりますが賛同いただけますでしょうか。

小山委員：やっていただきたい気持ちは重々ありますが、色々なご事情の中で申し出をお受けしないといけないのかなと思っておりますので、私としてはお二人の気持ちを尊重したいと思っております。

宮下委員：私も同意します

教育長：ありがとうございます。教育委員会として同意ということで進めさせていただきますのでよろしくをお願いいたします。それでは、次に進みます。

2. 麻績村立学校設置条例、管理規則等について

教育長：麻績村立学校設置条例、管理規則等について事務局より説明をお願いします。

白井次長：よろしく申し上げます(資料に沿って説明)。

教育長：設置条例につきましてはよろしいでしょうか。それではよろしく願いいたします。管理規則につきましては実際にはほとんど変わりはありませんが、少しずつ変わってきている部分を麻績村に合わせさせていただいている部分があります。市などの大きなところと違ってくるのは職員の部分で若干違ってくる部分があります。管理規則の中の情報も誤字等の確認をする中で詰めていきたいと思っておりますが内容についてはこれでいくということで、第一法規のシミュレーションにかけていますが何もエラーが出ないということでございますので、このまま行きたいと思っております。皆さんの方で前のものと読み比べていただく中でお気づきの点があればご一報くだされば再度検討して変えていきたいと思っております。4月1日か

ら施行するという形になります。これにつきましては教育委員会として告示しますのでまだ時間はあるのかなと思います。他の市町村等のものを見させていただいた中で作らせていただきましたので麻績村にあった部分、これから出てくるだろうという部分を含めてございます。そんなことをお願い申し上げまして皆さんの方で見ていただく中で気になる点がありましたらご連絡いただいで訂正等をしていきたいと思しますのでご理解を賜りたいと思います。このことについて皆様の方からご意見等ありますでしょうか。

市川職務代理：道徳が教科になったところですが、今は『各教科及び道徳』という表現をしていますでしょうか。この中に『各教科及び道徳』という表現がされていますので、もし表現が変わってきているのであればこの辺も整合性を図ったほうが良いかと思います。もう一点要望ですが、この設置条例の新旧を読み比べてという教育長の心のこもった言葉だと思いますが、出来れば教頭先生にこの際勉強になるのではということと教頭職として頭に入っていないといけないので、教頭先生に校正してみてと勉強してもらおうとありがたいなと思います。

教育長：一点、20条については今まで入っていないと思います。これが必要かどうか、問題ないとは思いますが一回学校で目を通していただいで確認いただければと思います。教職員の働き方改革等の要望についても参考資料を付けたので合わせてご確認いただければと思います。こちらについては中学校にはいっていないので中学校にも回しながら調整をしていきたいと思しますのでお互いに協力し合っただければと思います。

市川職務代理：学校評議員会については制度が出来たときに教育委員会でも話題になりましたが、こんな小さい村で教育委員会があつてさらにその上というのは非常に無駄であるという話し合いがなされています。ただ、これは学校として必要なら学校の方で設置するものですから条文としては残しておく方が学校に対しては親切だなと感じております。

教育長：その他にはよろしいでしょうか。よろしくお願ひいたしますそれでは次に進みます。

3. 令和2年度 学級編成について(報告)

教育長：令和2年度 学級編成について事務局より説明をお願いします。

白井次長：よろしくお願ひします(資料に沿って説明)。

教育長：おかげさまで中学の方もそれほど減少することにならないという状況にあります。今のこれからの保育園の状況を見ても急激な減というのはあまり見られませぬのである程度の数字で推移していくのかなと思います。

この中で学校の運営に影響が出てくるのが給食調理員の関係であり人数が少ないと栄養職員が無くなったりとありますので、村長もそこら辺を踏まえる中で移住等の子どもを増やす施策を進めていますのでご理解を賜りたいと思います。それではよろしいでしょうか。それでは、次に進みます。

4. 令和2年度 教育委員会主要事業計画について

5. 令和2年度社会教育・社会体育事業計画について(報告)

教育長：令和2年度 教育委員会主要事業計画について令和2年度社会教育・社会体育事業計画について併せて事務局より説明をお願いします。

白井次長：よろしくをお願いします(資料に沿って説明)。

教育長：このことについて皆様の方からご意見等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは次に進みます。

6. 就学援助対象児童の認定

教育長：就学援助対象児童の認定についてについて事務局より説明をお願いします。

白井次長：お願いいたします(以下、資料について説明)。

※ 認定結果につきましては個人情報になりますので、非公表とします。

教育長：このような認定結果になりましたが、よろしいですか。

全員：(了承)

教育長：それでは、次に進みます。

7. その他

1) 事務局から

教育長：本日は先に事務局からお願いいたします。

白井次長：一点報告です。予算が可決されてからの話になりますが、給食費につきまして今までは学校内で給食会計を持っていて栄養士の先生に苦勞をしていただいていたんですが、来年度から学校給食につきましては公会計化ということで村の方でお金を集めます。今までも保育園がそうだったんですが小学校と中学校も材料費等は村の予算に計上して村の方で給食費を集めるという公会計化に替えていきたいと思いますのでご報告です。よろしくをお願いいたします。もう一点、保護者との懇談会ということで

今まで年度末までにはという形にしてその間具体的な協議が抜けてしまっているんですが、年度内に集まってというのは今の状況では難しいと思います。それに代わって例えば準備なり前もって何か聞くとかそういう手筈が必要かどうかという事だけご協議いただければと思います。

教育長: このことにつきましては一般質問にも出ております。教育長の答弁としては学校の会議等の運営を見てもPTA総会でさえ参加者が少ない、色々な部分で会合の縮小化、簡略化の中で教育委員や議員などの来賓者も全部やめにして簡単にしていくということで中々意見の聴取の場が少なくなっているという状況があります。ただそういうことを踏まえて保護者の方々に日を改めて意見交換会に出ていただくことは少人数の中で大変だろうということで、今の所当面は必要ないだろうということで答弁をしていく予定でいます。ただし、色々な機会を捉える中で皆さん方のご意見をお聞きしていきたいと考えております。その中で言えば給食の公会計化についての部分でもお話を聞いていますがほとんど質問が無いというのが現状であります。やった方がよいことは事実ですのでやりたいとは思っておりますが、せつかくやっても人が来ないのであれば難しいかなと考えています。皆さんの率直な意見を聞きたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。地区懇談会を開いても今は若い人が出てこないという現状があつて問題かと感じている部分もあります。学校の行事の時に何か出来ればいいけれど皆忙しい時間の中でやっているのでは中々時間が取れないなというところもあります。忌憚のない意見をお願いいたします。

小山委員: 全体の話としては教育長のおっしゃる通りだと思います。要請が再三あるとしたらやったという事実は必要ではないかと思っております。参加者が少ないことは重々承知の中で開いた方がよいのではないのではないかなと思っております。4月から筑北中学校が麻績村立になるタイミングで経過の説明も含めて1回開いた方がよいんじゃないかと思っております。冒頭の中ではこれは懇談会であつて意見を言っただくのは結構だけれども、独演会や糾弾集会でもないし、自己主張大会ではないということをお集まりの方に率直な意見を1人2、3分程度で発表いただくような形で開催した方がよいのではと思っております。

教育長: ありがとうございます。いずれにしても開催は4月に入るかと思っております。4月もコロナウイルスの関係がどうなるか分かりませんのでそこら辺を踏まえてやっていきたいと思っております。統合問題についての問題は一般質問にも出てはいるんですが村長も私もそのことについては今の状況ではないということを確認して話をしていますので、それ以外のことでやっていきたいと思っております。そんな形よろしいでしょうか。

教育長: その他にいかがでしょうか。次に進みます。

2) 各委員から

教育長：委員の皆様から何かありましたらよろしくお願ひいたします。

小山委員：このコロナウイルスの件で今まで経験したことの無い学年末をお迎えでするので、担任の先生も変わる先生もいらっしゃるでしょうが通常のお別れ会も違った形でやらざるを得ないと思いますので、子ども達の精神的なケアと言いますか新2年生から新6年生は麻績小学校に残りますのでその辺のケアも引き続きよろしくお願ひいたします。

教育長：その他によろしいでしょうか。それでは辞任されます委員の方から挨拶をいただきたいと思います。

市川職務代理：この度は私の一身上の都合で辞職願を提出いたしましたところ村長には同意をいただき、今日の教育委員会で同意をいただき正式に3月31日をもって辞職出来ることになりました。思い返せば平成12年に現職を退職しまして13年度から教育研究所に行っていました、その途中から並行して村の教育委員会に入れていただきその翌年から教育長の職に就かせていただきました。それから途中3年間ほど空白がありましたがずっと村の教育行政に携わらせていただいて参りました。これまで続けてこれたという事、私にとっては子どものことを考えることしか出来ませんし、そのことが自分の一番の幸せでありましたから本当にありがたいことでした。それが出来たということは本当にここにいらっしゃる皆様方の本当に強い支えをいただいたおかげだなとしみじみ思っております。ほんとうにありがとうございました。

塚原委員：素敵なお話を含めて4点お話をさせていただきたいと思います。まず長い間教育委員として務めさせていただきまして大変お世話になりありがとうございました。至らない私でありましたけれども皆さんに支えていただいたこと感謝したいと思います。2点目は夢ということです。中々自分が思い描く夢というのは実現しにくいものだなということを思います。先人の俳句にもあるように自分の思いが中々実現しないで荒野を彷徨うという話もありましたがそれが2点目です。3点目はぜひ一貫教育を村民の皆さんも理解していただいて村民全員が一丸となって後押しして子ども達を育てていただけたらありがたいなと思います。特に私はコーディネーターをやったり小中学校の連携支援員をやったりしていると、現在の筑北村とのこともあるせいか中々村民の皆さんが腰を上げにくい所があるので今後ぜひ、皆で一丸となってやっていただけたらと思います。最後にこわいという話をしたいと思います。何がこわいかと言うとコロナウイルスの関係で日本の首相が右向け右と言ったら日本中が右を向きました。学校が休校になってしまいました。ナチスのような感じがしてこわいなと思いました。また、デマもこわいです。マスクが無くなってしまう、トイレトペーパーが無くなってしまう、場合

によってはお母さんたちの職業が無くなってしまふ、商売している人が商売が無くなってしまふ、何なんだろうこのこわさはという感じがします。何か日本がこんな姿勢のまま行って良いのかなということをごわいと思います。その一例の中にペットの頭の中にカプセルを入れるという話があります。そうすると所有者が分かるし行方不明になった時に探しやすいという事のようにです。私が以前にお話したことがあるんですが将来は人間にもチップを入れて貴方はどこに就職してどんな学歴があつてということが全部分かつてしまふという時代が来るんじゃないかと思つてハラハラしております。いよいよペットに来たかとおもつて生きていくのがこわいなと思つております。お世話になりました。

教育長：大変ありがとうございました。それでは、次回の日程に進みます。

定例教育委員会の日程 4月7日(火) 午前を予定

教育長：次回の日程につきましては学校と調整が必要になりますのでご理解いただければと思います。ありがとうございました。それでは、閉会に移ります。

五 閉会(飯森教育長)

辞任されました教育委員お二人につきましては本当に麻績村の教育行政にご尽力を賜つたこと厚く御礼申し上げたいと思います。今後も色々なことがあると思います是非ともご理解をいただいでご協力を賜りますようお願い申し上げまして本日の教育委員会を閉じたいと思います。ありがとうございました。

※網掛けになっている部分は個人情報になりますので一般公開する時には削除して公開いたします。

上記会議録に署名する

教育長

職務代理

委員

委員

委員

会議録調整者